

学科名	生物環境化学科						
科目名	生物化学1						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。 ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。 ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。 ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。 						
日程と内容	<p>4/10：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法の説明。生体分子の種類や構造を概説。）</p> <p>4/17：タンパク質、アミノ酸の構造と機能</p> <p>4/24：タンパク質、アミノ酸の代謝と合成</p> <p>5/1：糖（炭水化物）の構造と機能</p> <p>5/8：糖（炭水化物）の代謝、解糖系</p> <p>5/15：脂質の種類と構造と機能</p> <p>5/22：脂質の代謝、脂肪酸の合成</p> <p>5/29：核酸の基本構造</p> <p>6/5：DNAの高次構造とRNAの種類</p> <p>6/12：核酸とタンパク質の合成-複製-</p> <p>6/19：核酸とタンパク質の合成-遺伝子転写・翻訳-</p> <p>6/26：ビタミンの構造と機能</p> <p>7/3：シグナル伝達の生化学（1）</p> <p>7/10：シグナル伝達の生化学（2）</p> <p>7/17：酵素の性質・種類・反応</p> <p>7/24：定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験	70%	実技 部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。:達成した ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。:達成した ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。:達成した ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。:達成した 						
反省点	特に不満等のコメントはなかった。						
来年度の計画	学生の自己学習をより行いやすくするため、次回授業の予習箇所、復習ポイントなどを説明するようになる。						
授業評価アンケートに対するコメント	特になし						
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	64名	合格率	98%